


Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager インストール ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: 概要	5
本書で使用される用語.....	5
Dell EMC Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能.....	6
監視機能の対応 OpsMgr バージョン	6
章 2: Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール	8
前提条件.....	8
インストーラを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール.....	8
複数の管理サーバでの Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール	9
Dell EMC Server Management Pack Suite の前のバージョンからのアップグレード.....	10
Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.3 からのアップグレード.....	10
バージョン 6.2 以前のバージョンからのアップグレード.....	10
以前の Operations Manager からのアップグレード.....	10
OpsMgr 2012 R2 から OpsMgr 2016 へのアップグレード.....	10
OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレード.....	10
OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレード.....	10
OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード.....	10
インストーラの修復オプションの使用.....	11
Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストール.....	11
インストーラを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite の削除.....	11
Windows のコントロールパネルを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストール.....	11
トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr の設定.....	12
SNMP 監視のための Run As アカウントの作成.....	12
複数 Run As アカウントの関連付け.....	12
章 3: 監視機能のインストール	14
OpsMgr への管理パックのインポート.....	14
Feature Management Dashboard.....	14
Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート.....	14
Feature Management Dashboard を使用した監視機能のアップグレード.....	16
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除.....	17
章 4: サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能	18
管理パック.....	18
設定の前提条件.....	19
管理サーバー (MS) の要件.....	19
対応オペレーティングシステム.....	19
ソフトウェア要件.....	19
管理サーバーアクションアカウント (MSAA)	19
管理下システム要件.....	20
機能管理タスク.....	20
章 5: サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能	22

管理パック	22
設定の前提条件.....	23
管理サーバー (MS) の要件.....	23
管理下システム要件.....	24
機能管理タスク	24
章 6: DRAC 監視機能.....	26
管理パック	26
設定の前提条件.....	26
管理サーバー (MS) の要件 (オプション)	26
DRAC 監視要件.....	27
機能管理タスク	27
章 7: シャーシ監視機能	28
管理パック	28
設定の前提条件.....	28
シャーシ監視要件.....	29
シャーシスロットサマリを使用した関連サーバモジュール用 Chassis Management Controller 機能の設 定	29
機能管理タスク	29
章 8: シャーシモジュラーサーバー関連機能.....	31
管理パック	31
管理サーバー (MS) の要件.....	31
シャーシモジュラーサーバー関連監視要件.....	31
機能管理タスク	32
章 9: トラブルシューティング.....	33
Feature Management Dashboard が自動入力されない.....	33
Feature Management Dashboard タスクが失敗する.....	33
機能管理アラート.....	34
Feature Management Host Server の正常性サービスがダウンしている.....	34
章 10: 付録.....	35
Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイステンプレートのインストール.....	35
Run As アカウントの関連付けタスク — サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセン ス対象) 機能.....	35
章 11: Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス.....	36

概要

本ガイドには、Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 のインストール、設定、および使用に関する情報が記載されています。

Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 は、Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、または Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 と統合した環境なら、お使いの Dell デバイスを管理および監視し、その可用性を確保することができます。

注意: データの破損、データの損失、またはその両方を防ぐには、このマニュアルの手順を実行してください。ただし、**Microsoft Windows** のオペレーティングシステム、および **Microsoft System Center 2016 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 Operations Manager**、および **Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2** の適切な使用知識と経験がある場合に限りです。

Management Pack Suite インストーラ、インストールガイド、およびリリースノートのファイルは、自己解凍型実行ファイル `Dell EMC Server Management Pack Suite v7.0 Axx.exe` (xx は Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 のリリース番号) にパッケージされています。この実行ファイルは Dell.com/support からダウンロードできます。Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite のこのバージョンをインストールする前に、最新のマニュアルを Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals からダウンロードしてください。

管理パックのリリースノートをお読みください。ソフトウェアと管理サーバの要件や既知の問題に関する最新の情報が記載されています。リリースノートは、**Systems Management documentation** (システム管理マニュアル) ページ (Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement) にも記載されています。

トピック：

- [本書で使用される用語](#)
- [Dell EMC Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能](#)
- [監視機能の対応 OpsMgr バージョン](#)

本書で使用される用語

表 1. 本書で使用される用語

用語	意味
OpsMgr	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2。
OpsMgr 2016	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2016 Operations Manager。
OpsMgr 2012	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、および Microsoft System Center 2012 Operations Manager。
Dell Remote Access Controller (DRAC)	特に指定のない限り、Dell サーバー、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの DRAC。
Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC)	特に指定のない限り、Dell サーバー、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの iDRAC。
シャーシ	特に指定のない限り、Chassis Management Controller (CMC)。

表 1. 本書で使用される用語（続き）

用語	意味
サーバ	特に指定のない限り、PowerEdge サーバ、PowerVault モノリシックサーバとモジュラーサーバ、サポート対象のラック型ワークステーション、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバ。
iDRAC サービスモジュール (iSM)	iDRAC Service Module とは、サーバで動作し、OS からの情報を監視することで iDRAC を補完する、軽量ソフトウェアのこと。サービスモジュールは、それ自体の新しいインタフェースを公開する代わりに、ユーザーが iDRAC コンソールを使用して作業できるように追加されるデータで iDRAC を補完。iSM とそのサポート対象のプラットフォームの詳細については、 Dell.com/support の『iDRAC Service Module Installation Guide (iDRAC Service Module インストールガイド)』を参照してください。
サーバー (iSM)	iSM 経由で SCOM エージェントを使用して検出される PowerEdge サーバと Precision ラック型ワークステーション。
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視	特に指定のない限り、PowerEdge サーバ、PowerVault モノリシックサーバとモジュラーサーバ、サポート対象のラック型ワークステーション、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバ。これはライセンス不要な機能です。
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)	特に指定のない限り、PowerEdge サーバ、PowerVault モノリシックサーバとモジュラーサーバ、サポート対象のラック型ワークステーション、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバ。これはライセンスベースの機能です。

Dell EMC Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能

表 2. Dell EMC Server Management Pack Suite 機能

機能	説明
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視	PowerEdge サーバ、PowerVault ストレージサーバ、Dell OEM Ready サーバ、およびサポートされている Dell Precision ラックの監視とインベントリ。これはライセンス不要な機能です。
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)	サポートされている iDRAC または iSM 経由での、PowerEdge サーバ、PowerVault ストレージサーバ、サポート対象の Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバの監視およびインベントリ。これは、ライセンス付きの機能です。
DRAC 監視	iDRAC デバイスの監視とインベントリ。
シャーシ監視	CMC デバイスおよび OEM Ready シャーシの監視とインベントリ。
シャーシモジュラーサーバ関連	シャーシ内の Dell サーバと、サーバーおよびラック型ワークステーションの監視、またはサーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用して検出される OEM Ready シャーシの関連。

監視機能の対応 OpsMgr バージョン

表 3. 監視機能の対応 OpsMgr バージョン

監視機能	OpsMgr	
	2016/2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	2007 R2
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視		
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)		

表 3. 監視機能の対応 OpsMgr バージョン (続き)

監視機能	OpsMgr	
	2016/2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	2007 R2
DRAC		
シャーシ		
拡張性		
詳細		
シャーシモジュラーサーバー相関		
シャーシモジュラーサーバー相関		
Dell モジュラーサーバーとのシャーシ共有ストレージコンポーネント相関		

OpsMgr バージョンでサポートされる Dell ハードウェアデバイス

表 4. OpsMgr バージョンでサポートされる Dell ハードウェアデバイス

Dell ハードウェアデバイス	OpsMgr 2016/2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	OpsMgr 2007 R2
PowerEdge M1000e		
PowerEdge VRTX		次の機能のみでサポートされます： <ul style="list-style-type: none"> ● シャーシ監視機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 拡張性 ● シャーシモジュラーサーバー相関監視機能
PowerEdge FX2		

Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール

本項のトピックでは、Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール、アップグレード、アンインストールの方法について説明します。

トピック：

- 前提条件
- インストーラを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール
- 複数の管理サーバでの Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール
- Dell EMC Server Management Pack Suite の前のバージョンからのアップグレード
- 以前の Operations Manager からのアップグレード
- インストーラの修復オプションの使用
- Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストール
- トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr の設定

前提条件

管理サーバで Dell EMC Server Management Pack Suite をインストールするには、前提条件として、次に示すものがインストールされているようにします。

- 次のいずれかのバージョンの OpsMgr をインストールします。
 - 2016
 - ① **メモ:** Nano Windows サーバオペレーティングシステムを実行しているシステムでは、Microsoft サポート技術情報記事 KB3190029 で提供されているエージェントパッケージ Update Rollup 1 for Microsoft System Center 2016 - Operations Manager (Microsoft System Center 2016 - Operations Manager 用アップデートロールアップ1) を適用します。詳細については、support.microsoft.com/kb/3190029 を参照してください。
 - 2012 R2
 - 2012 SP1 — OpsMgr 2012 SP1 を実行するシステムでは、Microsoft サポート技術情報記事 KB2826664 で提供されている Update Rollup 2 for OpsMgr 2012 SP1 (OpsMgr 2012 SP1 用アップデートロールアップ2) をダウンロードして適用します。詳細については、support.microsoft.com/kb/2802159 を参照してください。
 - 2012
 - 2007 R2
- Microsoft .NET バージョン 3.5 SP1
- Dell EMC Server Management Pack Suite がインストールされている管理サーバ上でのローカル管理者特権
- 次の Windows ファイアウォールルールを有効にします。
 - Operations Manager SNMP 応答
 - Operations Manager SNMP Trap Listener
 - Operations Manager ping 応答
- Windows PowerShell 3.0 以降 (システムで Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムを実行している場合)

インストーラを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール

1. Dell_EMG_Server_Management_Pack_Suite_v7.0_Axx.exe (xx は Dell EMC Server Management Pack のリリース番号) を Dell.com/support からダウンロードします。
2. 自己解凍 zip ファイルの内容を抽出するには、.exe ファイルを実行します。

3. Dell_EM_C_Serv_Mgmt_Pack_Suite.exe ファイルを、解凍先の場所で起動します。
Dell EMC Server Management Pack Suite の「ようこそ」画面が表示されます。
4. **Next** (次へ) をクリックします。
ライセンス契約が表示されます。
5. インストールを続行するには、ライセンス条項を読んでから承諾して、**次へ** をクリックします。
6. 必要に応じて、**Change (変更)** をクリックしてインストールフォルダのデフォルトの場所を変更し、**Next (次へ)** をクリックします。
7. **インストール** をクリックします。
8. **Install Shield** ウィザードの完了画面で **終了** をクリックします。

管理パックがインストールされる場所は、デフォルトでは C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0 です。

Dell EMC Server Management Pack Suite がインストールされると、次の監視機能が自動的に OpsMgr にインポートされます。

- サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能
- すべての前提条件が満たされている場合は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能。
- Dell Feature Management Pack の [Feature Management Dashboard](#) は、OpsMgr コンソールの **Monitoring (監視)** > **Dell** に表示されます。監視機能のインポートについては、それぞれの監視の項を参照してください。

メモ: サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能には、Dell サーバの監視に使用されるすべての管理サーバで実行できるインストーラが必要です。インストーラは管理サーバに Dell Device Helper ユーティリティ (COM+ アプリケーション) を登録します。Dell Device Helper ユーティリティのデフォルトの場所は、C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Library です。

メモ: インストーラでは、管理パックも解凍されます。管理パックを解凍するには、Windows クライアントオペレーティングシステムがインストールされているシステムでインストーラを実行します。

Dell EMC Server Management Pack Suite がインストールされると、インストール情報を含むログファイルが生成されます。ログファイルは、Dell_EM_C_Serv_Mgmt_Pack_Suite.exe の解凍先のフォルダにあります。

複数の管理サーバでの Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール

Dell EMC Server Management Pack Suite を複数の管理サーバにインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次の監視機能で使用されるリソースプールの一部である管理サーバのうち、必要なすべての管理サーバで Dell_EM_C_Serv_Mgmt_Pack_Suite.exe を実行します。
 - a. サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)
 - b. シャーシ詳細監視
 - c. シャーシの拡張可能監視機能でのスロット検出
2. いずれかの管理サーバに、**Feature Management Dashboard** を使用して管理パックをインポートするか、「OpsMgr Import Management Pack (OpsMgr インポート管理パック)」ウィザードを使用して管理パックをインポートします。OpsMgr は、すべての管理サーバに管理パックを自動で配布します。
3. トラップを受信するには、Dell デバイスの検出のために使用される管理サーバを、Dell デバイスのトラップ送信先リストに追加します。

メモ: トラップの送信先は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で検出され監視される Dell デバイスに対し、自動で設定されます。

ホスト OS を介した iDRAC アクセス機能で検出されたデバイスから SNMP アラートを受信できるようにするには、SNMP サービスを管理下ノードにインストールし、管理サーバの IP アドレスをトラップの送信先として SNMP Services (SNMP サービス) に設定する必要があります。詳細については、『*Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager User's Guide*. (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 ユーザーズガイド)』の「monitoring iDRAC access via Host OS (ホスト OS を介した iDRAC アクセスの監視)」を参照してください。

Dell EMC Server Management Pack Suite の前のバージョンからのアップグレード

Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 には、インストーラを使用してアップグレードします。

Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.3 からのアップグレード

インストーラは Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.3 からインストールされた機能を検出し、機能管理パックをバージョン 7.0 に自動的にアップグレードします。

メモ: アップグレード完了後、インストーラが再起動するためのプロンプトメッセージを表示する場合がありますが、再起動は不要なため無視してください。

バージョン 6.2 以前のバージョンからのアップグレード

Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 以前からバージョン 7.0 へのアップグレードはサポートされていません。

以前の Operations Manager からのアップグレード

Microsoft のガイドラインに従って、以前のバージョンから OpsMgr をアップグレードすることができます。サポートされるアップグレードのシナリオについては、Microsoft System Center のマニュアルを参照してください。

OpsMgr 2012 R2 から OpsMgr 2016 へのアップグレード

OpsMgr 2016 へのアップグレードは、既存の Dell EMC Server Management Pack Suite の機能と動作には影響しません。OpsMgr 2012 R2 から OpsMgr 2016 へのアップグレードの詳細については、technet.microsoft.com/en-us/system-center-docs/om/deploy/upgrading-to-system-center-2016-operations-manager を参照してください。

OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレード

OpsMgr 2012 R2 へのアップグレードは、既存の Dell EMC Server Management Pack Suite の機能と動作には影響しません。OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレードの詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/dn249707.aspx を参照してください。

OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレード

OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレードは、既存の Dell EMC Server Management Pack Suite の機能と動作には影響しません。OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレードの詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/jj899854.aspx を参照してください。

OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード


OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード方法の詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh476934.aspx を参照してください。

メモ: 機能管理ワークフローが最適レベルで動作していることを確実にするため、OpsMgr 2012 へのアップグレード後はルート管理サーバーを再起動してください。

インストーラの修復オプションの使用

Repair (修復) オプションを使用すると、Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール中に発生する可能性のあるインストールエラーを修復できます。

1. `Dell EMC Server Management Pack Suite.exe` ファイルを、解凍先の場所で実行します。
Dell EMC Server Management Pack Suite の **Welcome (ようこそ)** 画面が表示されます。
2. **Next (次へ)** をクリックします。
プログラムメンテナンス画面が表示されます。
3. **Repair (修復)** を選択し、**Next (次へ)** をクリックします。
プログラム修復の準備完了画面が表示されます。
4. **インストール** をクリックします。
進行状況画面に、インストールの進行状況が表示されます。インストールが完了すると、**Installation Completed Successfully** (インストールが正常に完了しました) 画面が表示されます。
5. **終了** をクリックします。

 **メモ:** 修復オプションは、コントロールパネルのプログラムの追加と削除からは使用できません。

Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストール

Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストールは、Windows のコントロールパネルから、または Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラの **Remove (削除)** オプションを使用して実行できます。

インストーラを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite の削除

インストーラを使用して Dell EMC Server Management Pack Suite を削除するには、次の手順を実行します。

1. `Dell EMC Server Management Pack Suite.exe` ファイルを、解凍先の場所で実行します。
Dell EMC Server Management Suite Pack の **Welcome (ようこそ)** 画面が表示されます。
2. **Next (次へ)** をクリックします。
3. **削除** を選択してから **次へ** をクリックします。
プログラムの削除画面が表示されます。
4. **削除** をクリックします。
Dell EMC Server Management Pack Suite が削除されます。

 **メモ:**

- Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストール中に、`The following applications should be closed before continuing the installation: COM Surrogate (インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります: COM サロゲート)` というメッセージが表示されます。これは、COM サロゲートプロセスがバックグラウンドで `DellDeviceHelper.DLL` を実行していて、このプロセスを閉じる必要があるからです。**セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する** のオプションを選択します。**OK** をクリックして、アンインストールを続行します。
- Dell EMC Server Management Pack Suite をアンインストールしても、OpsMgr にインポートされている管理パックは削除されません。OpsMgr から管理パックを削除するには、Technet.microsoft.com/en-us/library/cc974489.aspx を参照してください。



Windows のコントロールパネルを使用した Dell EMC Server Management Pack Suite のアンインストール

Windows のコントロールパネルを使用して Dell EMC Server Management Pack Suite をアンインストールするには、次の手順を実行します。


1. スタート > コントロールパネル > プログラムのアンインストール とクリックします。
2. **Dell EMC Server Management Pack Suite** を右クリックし、**アンインストール** をクリックします。
3. 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr の設定

OpsMgr 2012 または OpsMgr 2016 でトラップ、およびトラップベースのユニットを監視するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr を起動して、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** > **プロファイル** と移動します。
3. 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP 監視アカウント** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
はじめに画面が表示されます。
4. **次へ** をクリックします。
Run As プロファイルの一般プロパティの指定 画面が表示されます。
5. **次へ** をクリックします。
Run As アカウント 画面が表示されます。
6. **追加** をクリックします。
Run As アカウントの追加 画面が表示されます。
7. **Run As アカウント** ドロップダウンリストからコミュニティ文字列を選択して、デバイスを検出します。
 -  **メモ:** コミュニティ文字列の **Run As アカウント** がない場合は作成してください。詳細に関しては、「[SNMP 監視のための Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。
 -  **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスを関連する Run As アカウントに関連付けます。詳細に関しては、「[複数の Run As アカウントの関連付け](#)」を参照してください。
8. **OK** をクリックします。
9. ウィザードを完了したら、**閉じる** をクリックします。

SNMP 監視のための Run As アカウントの作成

1. OpsMgr を起動して、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** > **アカウント** と移動します。
3. **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。
はじめに画面が表示されます。
 -  **メモ:** ネットワーク監視用の Run As アカウントの詳細については、マイクロソフト TechNet サイト (technet.microsoft.com/en-us/library/hh212920.aspx) を参照してください。
4. **次へ** をクリックします。
一般プロパティ 画面が表示されます。
5. **Run As アカウントのタイプ:** ドロップダウンリストから、**コミュニティ文字列** を選択します。
6. コミュニティ文字列を **表示名:** テキストボックスに入力して、**次へ** をクリックします。
7. コミュニティ文字列テキストボックスに正確なコミュニティ文字列を入力して、**次へ** をクリックします。
配布セキュリティ 画面が表示されます。
8. **低セキュリティ - 管理下コンピューターのすべてに資格情報を自動配布する** オプションを選択して、**作成** をクリックします。
9. ウィザードを完了したら、**閉じる** をクリックします。

複数 Run As アカウントの関連付け

1. 「[トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr の設定](#)」の手順 1~6 に従います。
2. **Run As アカウントの追加** 画面で、**選択したクラス、グループ、またはオブジェクト** オプションを選択します。
3. **選択** > **クラス** をクリックします。
クラス検索 画面が表示されます。

 **メモ:** コミュニティ文字列の **Run As アカウント** をオブジェクトおよびグループに関連付けることもできます。詳細については、technet.microsoft.com で OpsMgr 向けの Microsoft マニュアルを参照してください。

4. 次でフィルタ (オプション) テキストボックスに、クラス名を入力します。デバイスのタイプに応じて、**Dell Server**、**Dell CMC**、**Dell DRAC/MC**、または **Dell RAC** クラスを入力します。
5. **検索** をクリックします。
6. **使用可能なアイテム** で、追加するクラスを選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Run As アカウントの追加** 画面で、**OK** をクリックします。
9. 管理したいクラスの各タイプに、手順 2~8 を繰り返します。
10. **Save (保存)** をクリックします。
11. ウィザードを完了したら、**閉じる** をクリックします。

監視機能のインストール

本項では、**Dell Feature Monitoring Dashboard** を使用した監視機能のインストール、アップグレード、および削除について説明します。

OpsMgr の **管理パックのインポート** ウィザードまたは **Dell Feature Management Dashboard** を使用して監視機能管理パックをインポートすることにより、OpsMgr に監視機能をインポートすることができます。監視機能の高度な微調整には、**Feature Management Dashboard** を使用します。詳細については、該当する監視機能で、**Feature Management** タスクを参照してください。

トピック：

- [OpsMgr への管理パックのインポート](#)
- [Feature Management Dashboard](#)

OpsMgr への管理パックのインポート

管理パックをインポートするには、「OpsMgr Import Management Pack (OpsMgr インポート管理パック)」ウィザードを使用します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
3. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
4. **管理パックの選択** 画面で、**追加 > ディスクから追加** とクリックします。
5. **Dell EMC Server Management Pack Suite** のインストール先を正確に入力するか、その場所に移動します。
デフォルトのディレクトリにインストールすることを選択した場合、管理パックは C:\Program Files\Server Mgmt Suite\Dell Management Packs\7.0 にあります。
6. インポートする管理パックを選択し、**開く** をクリックします。
Import Management Packs (管理パックのインポート) 画面が表示され、管理パックが **Import List (インポートリスト)** に表示されます。
7. **インストール** をクリックします。

Feature Management Dashboard

Feature Management Dashboard には Dell EMC Server Management Pack Suite 監視機能を設定するための仕組みが装備されており、さまざまな Dell デバイス (スレッド、Dell Precision ラック、Dell Remote Access Controller (DRAC)、PowerEdge FX2、PowerEdge VRTX、PowerEdge M1000e、統合 DRAC (iDRAC)、Dell OEM サーバなど) を監視できます。

- [サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能](#)
- [サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 \(ライセンス対象 \) 機能](#)
- [DRAC 監視機能](#)
- [シャーシ監視機能](#)
- [シャーシモジュラーサーバー関連機能](#)

Dell Feature Management Dashboard を使用して、監視機能をインポート、アップグレード、および削除することが可能です。

Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート

Feature Management Dashboard では、使用可能な Dell EMC Server Management Pack Suite の監視機能を表示し、特定の機能が必要とされる管理パックのインポート、アップグレード、および削除に向けて、当該監視機能を自動で設定することができます。

分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell EMC Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバが、すべての機能管理アクティビティをホストするために選択されます。

監視機能をインポートするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**監視**をクリックします。
3. **Monitoring (監視) > Dell > Feature Management Dashboard**の順に展開します。

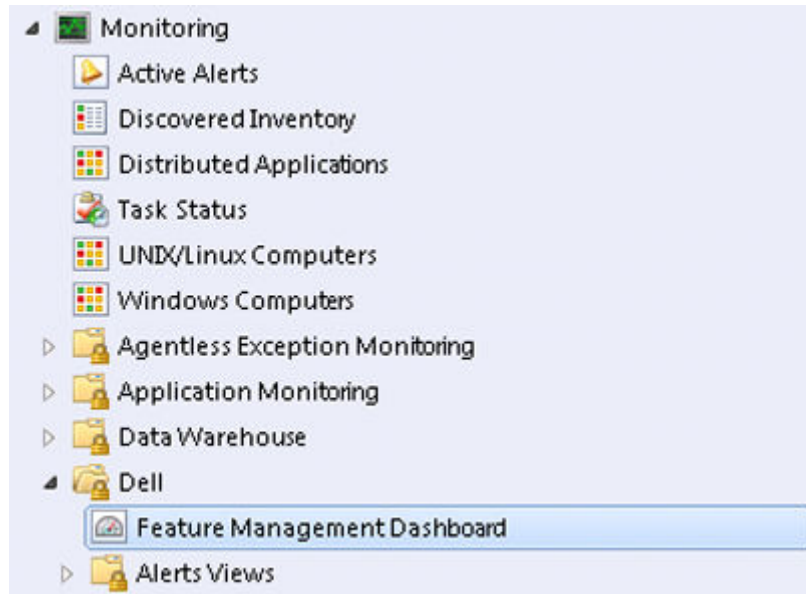


図 1. 監視ペイン

Feature Management Dashboard ペインには、インストールされている監視機能、現在使用中のバージョン、アップグレード可能なバージョン、監視レベル、ノードの合計数、および必要なライセンスのリストを表示できます。

Feature Management Dashboard

Feature Management State (5)

Look for: Find Now Clear

Feature Name	Description	Monitoring Level	In Use Version	Available Version	Total Node Count	Required License	Licensed Feature	Event Auto-Rec...
Chassis Modular Server Correlation	Perform correlation between Dell Chassis and Dell Modular Server	Full Feature	7.0.0	7.0	0	Not Applicable	Not Applicable	No
Chassis Monitoring	Monitor Dell chassis devices (i.e. CMCs and DRACs)	Detailed Feature	7.0.0	7.0	0	Not Applicable	Not Applicable	No
DRAC Monitoring	Monitor Integrated Dell remote access devices (i.e. iDRACs)	Full Feature	7.0.0	7.0	0	Not Applicable	Not Applicable	No
Server and Rack Workstation Monitoring	Monitor Dell PowerEdge and PowerVault Servers	Scalable Feature	7.0.0	7.0	0	Not Applicable	Not Applicable	No
Server and Rack Workstation Monitoring (Licensed)	Monitor Dell PowerEdge Servers (Licensed)	Detailed Feature	7.0.0	7.0	4	4	Yes	Disabled

図 2. Feature Management Dashboard

4. インストールする監視機能を選択します。
5. タスク ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。

Dell Monitoring Feature Tasks ▲

図 3. Dell 監視機能タスク

6. タスクをクリックして、機能をインポートします。
7. タスクの実行画面では、事前定義された **RunAs アカウント**の使用オプションが選択されていることを確認します。
8. **実行** をクリックします。
9. タスクが正常に完了したら、**閉じる** をクリックします。

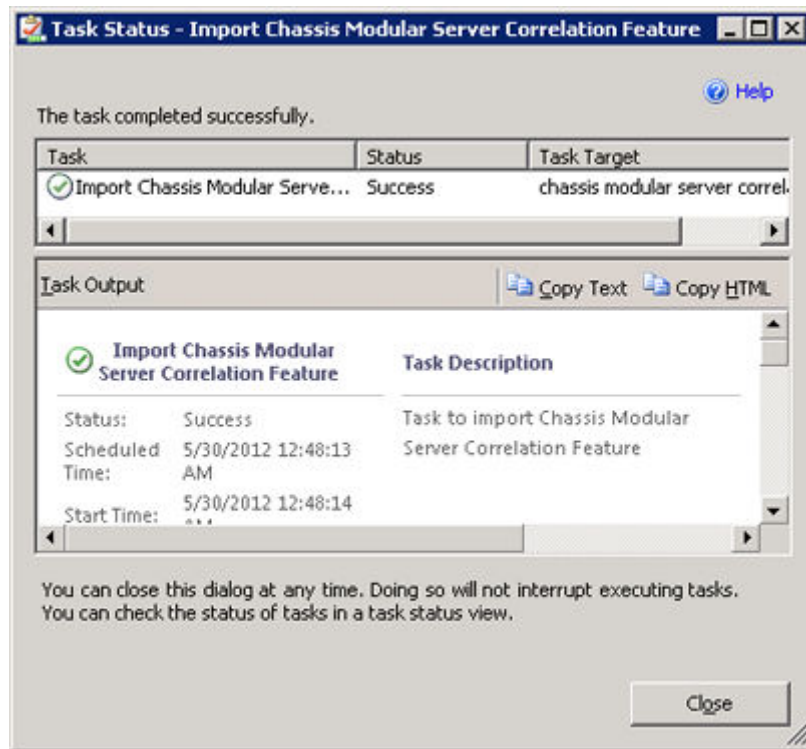


図 4. タスク状態

10. 有効にする各監視機能で、手順 4~9 を繰り返します。

メモ: Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください。

Feature Management Dashboard を使用した監視機能のアップグレード

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. **Monitoring (監視)** をクリックします。
3. **Dell > Feature Management Dashboard** とクリックします。
4. アップグレードする監視機能を選択します。
5. タスク ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。
6. 実行するアップグレードタスクをクリックします。
7. タスクの**実行** アップグレード 画面で、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションを選択します。
8. **実行** をクリックします。

注意: いずれかの依存関係や関連付けをオーバーライドする必要があり、これがデータロスにつながる場合、タスクは失敗し、それに対応するメッセージが表示されます。タスクを続行するには、**Override (オーバーライド)** をクリックし、**AutoResolve Warnings/Errors (警告/エラーの自動解決)** オーバーライドを **True** に設定します。詳細については、「[Feature Management Dashboard Task Fails \(Feature Management Dashboard タスクが失敗する\)](#)」を参照してください。

9. タスクを完了したら、**閉じる** をクリックします。

アップグレードのプロセスでは、すべてのオーバーライド(検出、ユニット監視、規則のカスタマイズ)が、Dell Server Management Pack Suite の前のバージョンから Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 に継承されます。

表 5. Feature Management Dashboard を使用した監視機能のカスタマイズ - 拡張可能機能と詳細機能との比較

機能	拡張性	詳細
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視	サーバーおよびコンポーネントグループレベルでのインベントリおよび正常性監視	コンポーネント(メモリ、プロセッサ、センサー、ネットワークインターフェース、ス

表 5. Feature Management Dashboard を使用した監視機能のカスタマイズ - 拡張可能機能と詳細機能との比較 (続き)

機能	拡張性	詳細
		トレージコントローラ、ディスク、およびボリューム)の詳細なインベントリおよび監視。BIOS 情報も表示。
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 ● サーバ、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 ● 電力、温度、ネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、CUPS (1秒あたりのコンピュータ使用量)の各メトリック、PCIe SSD の摩耗レベル、および IO パフォーマンスのメトリックを表示。
シャーシ監視	<ul style="list-style-type: none"> ● シャーシインベントリ ● シャーシスロットサマリ ● シャーシの正常性監視 	個々のシャーシコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。
DRAC 監視	<ul style="list-style-type: none"> ● iDRAC インベントリ ● iDRAC の正常性監視 	適用なし。
シャーシモジュラーサーバー相関	モジュラーサーバとシャーシとの相関 - シャーシからモジュラーサーバ内のコンポーネントに至るまで、インベントリと正常性を表示。	適用なし。

Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除

監視機能を削除するには、**Dell Feature Management Dashboard** を使用します。監視機能を削除する前に、開いているすべてのアラートを閉じるか、解決してください。監視機能の削除中、**Feature Management Dashboard** はすべての上書き参照をバックアップとしてインストールフォルダにエクスポートしますが、カスタムグループ情報および上書きインスタンスレベル情報を将来再利用することはできません。

監視機能を削除するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr を起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell > Feature Management Dashboard** と移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内に存在する監視機能のリストが表示されます。
3. 削除する監視機能を選択します。
4. **タスク** ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。
メモ: System Center Operations Manager 2007 R2 では、**タスク** ペインが **アクション** ペインと呼ばれています。
5. **機能の削除** をクリックして、監視機能を削除します。
たとえば、サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能を削除するには、**タスク** ペインで **監視機能の削除** をクリックします。
6. **タスクの実行 - 機能の削除** 画面で、**事前定義された Run As アカウントを使用する** オプションを選択します。
7. **実行** をクリックします。
注意: データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けが存在する場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、**上書き** をクリックして **警告/エラーの自動解決** 上書きを **True** に設定します。
詳細に関しては、**Feature Management Dashboard タスクが失敗する** を参照してください。
8. タスクが終了したら、**閉じる** をクリックします。

メモ: **Feature Management Dashboard** で監視機能の削除タスクを実行すると、カスタムグループで参照される上書きまたはインスタンスがある場合、失敗します。このような場合、カスタムグループに関連付けられた上書きまたはインスタンスを削除してください。

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能

サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能は、OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用して、サポート対象の Windows OS と共にインストールされている、次のデバイスの検出および監視をサポートしています。

- PowerEdge モジュラーおよびモノリシックサーバ
- PowerVault ストレージサーバ
- Dell OEM Ready サーバ
- Dell Precision ラック

これらのデバイスのインベントリと監視は、サーバの OpenManage Server Administrator (OMSA) から実行できます。OMSA はライセンス不要の監視機能です。

サポートされている OMSA バージョンの詳細については、『Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager Release Notes (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 リリースノート)』を参照してください。

Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視の拡張可能機能を、OpsMgr に自動でインポートします。

トピック：

- 管理パック
- 設定の前提条件
- 管理サーバ (MS) の要件
- 管理下システム要件
- 機能管理タスク

管理パック

Dell EMC Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、必要な管理パックが OpsMgr コンソールの **Administration (管理)** ペインに表示されます。詳細については、「[Importing Management Packs into OpsMgr \(OpsMgr への管理パックのインポート\)](#)」を参照してください。

表 6. サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能および管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	管理パック
サーバおよびラック型ワークステーションの監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Server Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Server.mp 拡張可能機能 <ul style="list-style-type: none"> • OMSA を使用して検出されるサーバまたはラック型ワークステーションの場合 <ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.Model.Server.mp ○ Dell.WindowsServer.Scalable.mp ○ Dell.View.Server.mp ○ (オプション) Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp <p>メモ: Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp (情報アラートを受信したい場合にのみインポート)</p> 詳細機能

表 6. サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能および管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	管理パック
		<ul style="list-style-type: none"> Dell.WindowsServer.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック

設定の前提条件

Dell デバイスを検出するための System Center Operations Manager (SCOM) エージェントへの接続性。

管理サーバー (MS) の要件

対応オペレーティングシステム

次に、管理サーバー用に OpsMgr がサポートするオペレーティングシステムをリストします。

- OpsMgr 2016 については、 technet.microsoft.com/en-us/library/dn997301%28v=sc.16%29.aspx を参照してください。
- OpsMgr 2012 R2、OpsMgr 2012 SP1、および OpsMgr 2012 については、 technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx を参照してください。
- OpsMgr 2007 R2 については、 [technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428(en-us).aspx) を参照してください。

ソフトウェア要件

表 7. ソフトウェアの前提条件

ソフトウェア	目的
(オプション) OpenManage Server Administrator (Server Administrator) の DRAC ツール	Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの iDRAC とその NIC のインベントリと監視を実行します。
(オプション) Dell License Manager (iDRAC 7 以降のシステムのみ)	Dell License Manager コンソールを起動し、ライセンスを展開し、レポートを収集します。Dell License Manager を管理サーバーにインストールします。詳細については、『 <i>Dell License Manager User's Guide</i> 』(Dell License Manager ユーザーズガイド) (dell.com/support/home) を参照してください。
(オプション) OpenManage Power Center	Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。OpsMgr コンソールを使用して、データセンターの電力消費量と温度を監視および管理します。OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細については、『 <i>Dell OpenManage Power Center Installation Guide</i> 』(Dell OpenManage Power Center インストールガイド) (dell.com/support/home) を参照してください。
(オプション) ベースボード管理コントローラ (BMC) 管理ユーティリティ	Dell の管理下システムにおいて、リモート電源制御タスク、または LED 識別制御タスクを実行します。

- ① **メモ:** DRAC ツール、OpenManage Server Administrator (Server Administrator)、BMC 管理ユーティリティ、Dell License Manager には *Dell Systems Management Tools and Documentation* メディアからアクセスするか、 dell.com/support/ からダウンロードします。

管理サーバーアクションアカウント (MSAA)

表 8. MSAA 特権

機能	ユーザー特権
DRAC 検出と、対応する DRAC コンソール起動	管理者またはパワーユーザー

表 8. MSAA 特権 (続き)

機能	ユーザー特権
ESM ログのクリア	管理者またはパワーユーザー あるいは、MSAA に標準のユーザー特権が付与されている場合、ユーザーは 事前定義された RunAs アカウントの使用 を選択する代わりに、パワーユーザー以上の特権のあるタスク資格証明を入力して、 ESM ログのクリア タスクを実行できます。

管理下システム要件

サポートされている Server Administrator のバージョン (Server Administrator Storage Management Service を含む) を管理下システムにインストールします。

- ① **メモ:** 管理下システムで Server Administrator をアップグレードまたはアンインストールする場合、管理下システムの [アラートビュー] に「Script or Executable failed to run」というエラーが表示されることがあります。管理下システムが管理サーバーではない場合、アップグレードまたはアンインストールが完了するまで、システムをメンテナンスモードに切り替えてください。管理下システムが**管理サーバー**の場合は、アップグレードまたはアンインストールの完了後に、手動でアラートを閉じることができます。
- ① **メモ:** Server Administrator 7.2 DRAC ツールを使用するシステムでは、Server Administrator 7.4 DRAC ツール以降にアップグレードすることをお勧めします。
- ① **メモ:** 管理下システムでサポートされるオペレーティングシステムの詳細については、dell.com/support/home にある『OpenManage Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

機能管理タスク

Dell EMC Server Management Pack Suite がインストールされると、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能が OpsMgr に自動でインポートされ、それに関連するタスクが「機能管理タスク」セクションで使用できるようになります。次の表には、**Feature Management Dashboard** で利用できるサーバおよびラック型ワークステーションの監視機能タスクがリストされています。

サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能は、ライセンス不要の機能です。

- ① **メモ:** イベントログ内のエラーログには、既存の管理パックの再インポートに関するエラーがありますが、無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に、それより前にインポートされていて依存関係にあるすべての管理パックが **Feature Management Dashboard** によって再インポートされた場合に発生します。
- ① **メモ:** **Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 9. 機能管理タスク

タスク	説明
サーバおよびラック型ワークステーションの監視の詳細機能のインポート	サーバおよびラック型ワークステーションの監視の詳細機能をインポートします。
サーバおよびラック型ワークステーションの監視の拡張可能機能のインポート	サーバおよびラック型ワークステーションの監視の拡張可能機能をインポートします。
エージェントプロキシの有効化	このタスクは、エージェントプロキシを有効にします。
優先監視方法として設定	サーバおよびラック型ワークステーションのセットアップで、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能とサーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能の両方から監視されるようになっている場合、このタスクでは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視

表 9. 機能管理タスク (続き)

タスク	説明
	<p>機能の方を、お使いのサーバおよびラック型ワークステーションに対して優先される監視方法として有効にします。</p> <p>詳細については、『Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager User's Guide. (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 ユーザーズガイド)』の Feature Management Tasks (機能管理タスク) を参照してください。</p>
<p>拡張可能機能への設定</p>	<p>システムで詳細機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。</p> <p>以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。</p>
<p>詳細機能への設定</p>	<p>システムで拡張可能機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。</p> <p>以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。</p>
<p>情報アラートをオンに設定</p>	<p>サーバおよびラック型ワークステーションの拡張可能監視の使用時に、情報アラートがオンになります。</p>
<p>情報アラートをオフに設定</p>	<p>サーバおよびラック型ワークステーションの拡張可能監視の使用時に、情報アラートがオフになります。</p>
<p>ダッシュボードの更新</p>	<p>Feature Management Dashboard を更新します。</p> <p>① メモ: ダッシュボードの更新タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。</p>
<p>ノード数の更新</p>	<p>この機能を使用して、監視されるサーバのノード数を更新します。</p>
<p>監視機能の削除</p>	<p>サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能を削除します。</p>

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能は、次のデバイスの検出および監視方法に基づいて、詳細または拡張可能インベントリを提供します。

- 第 12、13、14 世代 PowerEdge サーバ
- PowerVault システム
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバー
- Dell OEM Ready サーバー

これらのデバイスのインベントリおよび監視は、監視プリファレンスに基づいて、次の方法のいずれかで、管理下サーバまたはラック型ワークステーションにインストールされている iDRAC または iDRAC Service Module (iSM) から実行できます。

- WS-MAN を使用した iDRAC
- ホスト OS を介した iDRAC アクセス
- WMI を使用した iSM

これはライセンスが必要な機能です。

WS-MAN またはホスト OS を使用した iDRAC 経由でのサーバの監視の詳細については、『*Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager User's Guide* (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 ユーザーズガイド)』の「Server and Rack Workstation Monitoring (Licensed) Feature (サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能)」の項を参照してください。

iSM の対応プラットフォームのリストについては、Dell.com/manuals の『iDRAC サービスモジュールインストールガイド』を参照してください。

前提条件が満たされていれば、Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を自動でインポートします。

トピック：

- [管理パック](#)
- [設定の前提条件](#)
- [管理サーバー \(MS\) の要件](#)
- [管理下システム要件](#)
- [機能管理タスク](#)

管理パック

Dell EMC Server Management Pack Suite の管理パックがインポートされると、必要な管理パックが OpsMgr コンソールの **Administration (管理)** ペインに表示されます。詳細については、「[Importing Management Packs into OpsMgr \(OpsMgr への管理パックのインポート\)](#)」を参照してください。

表 10. サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能および必要な管理パック

特長	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> ● Dell.Connections.HardwareLibrary.mp ● Dell.OperationsLibrary.Common.mp 拡張可能機能 <ul style="list-style-type: none"> ● iSM を通じて検出されるサーバまたはラック型ワークステーションの場合: <ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.ManagedServer.iSM.mp

表 10. サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能および必要な管理パック

特長	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
	C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Server Monitoring	<ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.ManagedServer.Model.mp ○ Dell.View.Server.mp ● iDRAC を通じて検出されるサーバまたはラック型ワークステーションの場合: <ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.Model.Server.mp ○ Dell.OperationsLibrary.Server.mp ○ Dell.Server.OOB.mp ○ Dell.View.Server.mp <p>詳細機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ● iSM を通じて検出されるサーバまたはラック型ワークステーションの場合: <ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.ManagedServer.iSM.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック ● iDRAC を通じて検出されるサーバまたはラック型ワークステーションの場合: <ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.Server.OOB.DetailedMonitoringOn.mp およびすべての拡張可能管理パック

設定の前提条件

- iSM がインストールされていること
 - WMI を使用して iSM からデバイスを検出する WMI 機能が有効に設定されていること
 - ホスト OS からの iDRAC アクセスによってデバイスを検出するために [ホスト OS からの iDRAC アクセス] が有効に設定されていること
- iDRAC に対する WS-MAN (WS-Management) 接続性があること
- ファイアウォールで SNMP ポートが有効になっていること
- Dell Device Helper がインストールされていること
- WinRM 設定の MaxEnvelopeSizeKb の値がより高い値になっていること (Windows Server 2008 R2 の場合のみ)

管理サーバー (MS) の要件

表 11. ソフトウェアの前提条件

ソフトウェア	目的
(必須) OpsMgr 2012 以降	<p>サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能は、OpsMgr 2012 以降を実行している管理サーバーでのみ使用できます。</p> <p>i メモ: OpsMgr 2016 を使用している場合、Nano サーバを実行しているシステムでは、Microsoft サポート技術情報記事 KB3190029 で提供されているエージェントパッケージ <i>Update Rollup 1 for Microsoft System Center 2016 - Operations Manager (Microsoft System Center 2016 - Operations Manager 用アップデートロールアップ 1)</i> を適用します。詳細については、support.microsoft.com/kb/3190029 を参照してください。</p>
(必須) Microsoft の SMASH ライブラリ MPB	<p>サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能では、Dell サーバを検知するために Microsoft の SMASH ライブラリ MPB を必要とします。詳細については、「Installing</p>

表 11. ソフトウェアの前提条件 (続き)

ソフトウェア	目的
	the WS-Management and SMASH Device Template (WS-Management と SMASH デバイステンプレートのインストール) を参照してください。
(オプション) Dell License Manager (iDRAC 7 以降のシステムのみ)	Dell License Manager コンソールを起動します。ライセンスを展開してレポートを収集するために、Dell License Manager を管理サーバにインストールします。詳細については、 dell.com/support/home で『Dell License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。
(オプション) OpenManage Power Center	Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。OpsMgr コンソールを使用して、データセンターの電力消費量と温度を監視および管理します。OpenManage Power Center を管理サーバにインストールします。詳細については、『OpenManage Power Center Installation Guide』(OpenManage Power Center インストールガイド)(dell.com/support/home) を参照してください。

管理下システム要件

管理下システムを検出および監視するには、次の要件が満たされているようにします。

- 必要な iSM バージョンが、Dell デバイスにインストールされていること。お使いの監視要件に基づいて、iDRAC コンソールで次の機能を有効にする必要があります。
 - WMI を使用した iSM から監視する Windows Management Instrumentation (WMI) 機能
 - ホスト IP を使用して iDRAC から監視するホスト OS からの iDRAC アクセス (試験的機能)
- iDRAC7 以降

- ① **メモ:** Microsoft Nano サーバーを実行しているシステムで WMI 機能を使用して iSM からデバイスを監視している場合は、Dell.com/support の『iDRAC サービスモジュールバージョン 2.4 インストールガイド』の「Nano オペレーティングシステムへの iDRAC サービスモジュールのインストール」セクションを参照してください。
- ① **メモ:** iDRAC ファームウェアバージョン 2.40.40.40 以降を使用している場合は、Transport Layer Security (TLS) バージョン 1.1 以降がデフォルトで有効に設定されています。Microsoft System Center Configuration Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 をインストールする前に、TLS のアップデートの詳細について Support.microsoft.com/en-us/kb/3140245 を参照してください。お使いの Web ブラウザに基づいて、TLS 1.1 以降のサポートを有効にすることが必要な場合があります。iDRAC の詳細については、Dell.com/idracmanuals を参照してください。

機能管理タスク

次の表は、**Feature Management Dashboard** で利用できるサーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能タスクの一覧です。機能管理タスクの表に記載されているタスクの一部は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能をインポートしないと表示されません。

- ① **メモ:**

サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用して Dell サーバを検出する前に Microsoft SMASH ライブラリ (MPB) がインストールされているようにして、機能管理タスクの表に記載されているすべてのタスクを使用できるようにします。

イベントログ内のエラーログには、既存の管理パックの再インポートに関するエラーがありますが、無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に、それより前にインポートされていて依存関係にあるすべての管理パックが **Feature Management Dashboard** によって再インポートされた場合に発生します。
- ① **メモ:** **Feature Management Dashboard** を使用中は別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードにタスクの状況を表示します)。

表 12. 機能管理タスク

タスク	説明
拡張可能機能のインポート	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能の拡張可能機能をインポートします。
詳細機能のインポート	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能の詳細機能をインポートします。
エージェントプロキシの有効化	サポート対象の iSM バージョンを実行している Dell サーバに対し、エージェントプロキシを有効にして、そのサーバの検出も始動します。
拡張可能機能(ライセンス対象)への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard はこの監視方法のために詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
詳細機能(ライセンス対象)への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard はこの監視方法のために拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
優先監視方法(ライセンス対象)として設定	お使いの Dell サーバおよびラック型ワークステーションが、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能とサーバおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能の両方から監視されるようになっている場合、サーバおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能の方を、これらのデバイスに対して優先される監視方法として有効にします。 詳細については、『 <i>Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager User's Guide</i> 。(Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 ユーザーズガイド)』の Feature Management Tasks (機能管理タスク) を参照してください。
Enable Event Auto-Resolution (イベントの自動解決の有効化)	Event Auto-Resolution(イベントの自動解決)機能を有効にします。
Disable Event Auto-Resolution (イベントの自動解決の無効)	Event Auto-Resolution(イベントの自動解決)機能を無効にします。
Run-As アカウントの関連付け	このタスクは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバオブジェクトに関連付けます。詳細については、「 Associate Run As-Account task (Run As アカウントの関連付けタスク) 」を参照してください。
監視機能(ライセンス対象)の削除	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能を削除します。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。 ① メモ: ダッシュボードの更新 タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。
ノード数の更新	この機能を使用して、監視されるサーバーのノード数を更新します。

DRAC 監視機能

DRAC 監視機能は SNMP を使用して、さまざまな世代の iDRAC (iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 の各システム) の検出と監視をサポートします。

トピック：

- 管理パック
- 設定の前提条件
- 管理サーバー (MS) の要件 (オプション)
- 機能管理タスク

管理パック

Dell EMC Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、必要な管理パックの一覧が OpsMgr コンソールの **Administration (管理)** ペインに表示されます。詳細については、「[Importing Management Packs into OpsMgr \(OpsMgr への管理パックのインポート \)](#)」を参照してください。

表 13. DRAC 監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
DRAC 監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Library 管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Remote Access Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Common.mp 管理パック <ul style="list-style-type: none"> • Dell.DRAC.OM07.mp — OpsMgr 2007 R2 • Dell.DRAC.OM12.mp — OpsMgr 2012 以降 • Dell.Model.DRAC.mp • Dell.OperationsLibrary.DRAC.mp • Dell.View.DRAC.mp

設定の前提条件

SNMP 機能のためにファイアウォール上の SNMP ポートを有効化します。

管理サーバー (MS) の要件 (オプション)

表 14. オプションのソフトウェア要件

ソフトウェア	目的
Dell License Manager (iDRAC 7 システムのみ)	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。 Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/home にある『 <i>Dell License Manager ユーザーズガイド</i> 』を参照してください。
Dell OpenManage Power Center	Power Center コンソールを起動するには、 Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/home にある『 <i>Dell OpenManage Power Center インストールガイド</i> 』を参照してください。

DRAC 監視要件

シャーシデバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント** を **Dell Remote Access Controller** クラス、またはそれぞれのシャーシオブジェクト（異なるシャーシデバイスに異なる Run As アカウントがある場合）をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント** と関連付けます。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できる DRAC 監視タスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、DRAC 監視機能をインポートした後でしか表示されません。

- ① **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
- ① **メモ:** **Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 15. 機能管理タスク

タスク	説明
DRAC 監視機能のインポート	OpsMgr で DRAC 監視機能を有効にします。
DRAC 監視機能のアップグレード	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。 ① メモ: ダッシュボードの更新 タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を OpsMgr から削除します。

シャーシ監視機能

シャーシ監視機能は、SNMP または WS-MAN プロトコルを使用して、PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、PowerEdge VRTX シャーシ、PowerEdge M1000e シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシ上の Chassis Management Controller (CMC) の検出と監視をサポートします。

シャーシ監視機能は、対応する OpsMgr の個々のシャーシコンポーネントの詳細監視もサポートします。

トピック：

- [管理パック](#)
- [設定の前提条件](#)
- [シャーシ監視要件](#)
- [シャーシスロットサマリを使用した関連サーバモジュール用 Chassis Management Controller 機能の設定](#)
- [機能管理タスク](#)

管理パック

Dell EMC Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、必要な管理パックが OpsMgr コンソールの **Administration (管理)** ペインに表示されます。詳細については、「[Importing Management Packs into OpsMgr \(OpsMgr への管理パックのインポート \)](#)」を参照してください。

次の表は、シャーシ監視機能に必要な管理パックの一覧です。

表 16. 必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
シャーシ監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理 パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Chassis Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Common.mp 拡張可能機能 <ul style="list-style-type: none"> • Dell.CMC.OM07.mp — OpsMgr 2007 R2 • Dell.CMC.OM12.mp — OpsMgr 2012 以降 • Dell.Model.Server.mp • Dell.OperationsLibrary.CMC.mp • Dell.View.CMC.mp 詳細機能 <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Chassis.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック

設定の前提条件

- ファイアウォールで SNMP ポートが有効になっていること。
- Dell Device Helper がインストールされていること。
- 管理サーバーと管理下ノードの間に WS-MAN (WS 管理) 接続があること。

シャーシ監視要件

- スロット検出と相関を機能させるには、Dell Device Helper Utility がインストールされていることを確認してください。
- シャーシコントローラ、IO モジュール、IO モジュールグループ、電源装置、および電源装置グループコンポーネントを監視するには、RACADM ユーティリティを有効にします。現在、RACADM ユーティリティは、シャーシコントローラ、IO モジュール、IO モジュールグループ、電源装置、および電源装置グループコンポーネントの正常性を監視する目的でのみ必要です。
- シャーシデバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント** を **Dell Modular Chassis** クラス、またはそれぞれのシャーシオブジェクト（異なるシャーシデバイスに異なる Run As アカウントがある場合）をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント** と関連付けます。
- CMC のシャーシスロットおよびシャーシスロットサマリを検出するには、**Run As Accounts (Run As アカウント)** を作成し、そのアカウントを **Dell CMC Login Account (Dell CMC ログインアカウント)** の Run As プロファイルに関連付けます。また、**CMC Slot Discovery (CMC スロット検出)** も、OpsMgr コンソールで有効にします。詳細については、「[シャーシスロットサマリを使用した相関サーバモジュール用 Chassis Management Controller 機能の設定](#)」を参照してください。
- シャーシの詳細監視を実行するには、Dell CMC へのアクセスに必要な WS-MAN 資格情報で **Run As アカウント** を作成し、そのアカウントをプロファイル (**Dell CMC ログインアカウント Run As プロファイル**) に関連付けます。

メモ:

- CMC 用に AD ドメイン資格情報を使用している場合は、**username@domainname.com** というフォーマットで資格情報を入力してください。

シャーシスロットサマリを使用した相関サーバモジュール用 Chassis Management Controller 機能の設定

サーバモジュールを相関させるために CMC 機能を設定するには、**Run As アカウント** を作成してそれを Run As プロファイルに関連付け、シャーシスロットサマリの自動入力を行います。

1. 簡易認証タイプの **Run As Account (Run As アカウント)** を作成し、シャーシの CMC モジュールに接続する権限を付与します。また、ユーザー資格情報を設定するには、**Basic (ベーシック)** または **Digest (ダイジェスト)** の Run As アカウントタイプを使用します。
2. **Run As Account (Run As アカウント)** 設定では、**More Secure (高セキュリティ)** または **Less Secure (低セキュリティ)** オプションの選択により、特定の管理サーバに対して選択的に設定を適用します。

簡易認証タイプの **Run As Account (Run As アカウント)** の作成方法については、『*Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager User's Guide (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 ユーザーズガイド)*」(Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement) の「[Creating A Simple Authentication Run As Account \(簡易認証 Run As アカウントの作成 \)](#)」の項を参照してください。

メモ: サーバ管理アクション アカウントを OpsMgr 管理者グループに追加します。

3. 作成した Run As アカウントを **Dell CMC ログインアカウント** のプロファイルに関連付け、プロファイル上で設定できる適切なクラス、グループ、またはオブジェクトを選択します。
 - CMC のスロットサマリ検出を有効にするには、**Dell CMC Slot Discovery (Dell CMC スロット検出)** で有効化プロパティを **True** に書き込みます。これはデフォルトでは無効になっています。

メモ: スロット検出後、**RunAs アカウント** と **RunAs プロファイル** 間のリンクを削除、またはスロット検出ワークフローを無効化すると、検出されたスロットには古いデータが残ります。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるシャーシ監視タスクがリストされています。Feature Management タスクの表にリストされているタスクの一部は、シャーシ監視機能をインポートした後でしか表示されません。

メモ: イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。

① **メモ: Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 17. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシ 監視拡張可能機能のインポート	シャーシ監視拡張可能機能をインポートします。
シャーシ 監視詳細機能のインポート	シャーシ監視詳細機能をインポートします。
シャーシ 拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
シャーシ 詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。
シャーシ 監視機能の削除	シャーシ監視機能 (拡張可能機能および詳細機能の両方) を削除します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。 ① メモ: ダッシュボードの更新 タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。

シャーシモジュラーサーバー関連機能

シャーシモジュラーサーバー関連機能は次をサポートします。

- シャーシスロットでライセンス対象またはライセンス不要の監視機能を使用して検出されたモジュラーサーバーの相関。
 ⓘ **メモ:** CMC スロット検出はデフォルトで無効にされています。このため、相関機能を機能させるには CMC スロット検出を有効にします。
- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell サーバーの相関。
 ⓘ **メモ:** シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバーとの相関に、シャーシ詳細監視をインポートします。

トピック：

- [管理パック](#)
- [管理サーバー \(MS\) の要件](#)
- [機能管理タスク](#)

管理パック

Dell EMC Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、必要な管理パックが OpsMgr コンソールの **Administration (管理)** ペインに表示されます。詳細については、「[Importing Management Packs into OpsMgr \(OpsMgr への管理パックのインポート\)](#)」を参照してください。

表 18. シャーシモジュラーサーバー関連監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
シャーシモジュラーサーバー相関	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\Library 管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.0\ChassisModular ServerCorrelation	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Common.mp 管理パック <ul style="list-style-type: none"> • Dell.ChassisModularServer.Correlation.mp

管理サーバー (MS) の要件

シャーシモジュラーサーバー関連監視要件

分散型 OpsMgr 環境におけるシャーシブレード相関

分散型 OpsMgr 2007 R2 環境では、CMC の検出および監視を行う管理サーバーのサーバープロキシを有効にします。

プロキシエージェントを有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**管理 > デバイス管理 > 管理サーバー** と展開します。
3. シャーシデバイスを検出した管理サーバーを選択します。
4. 右クリックして、**プロパティ** を選択します。
5. **管理サーバーのプロパティ** で **セキュリティ** をクリックします。

6. このサーバーをプロキシとして動作させて、他のコンピューター上の管理下オブジェクトを検出する を選択します。
7. **OK** をクリックします。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるシャーシモジュールサーバー関連機能タスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、シャーシモジュールサーバー関連監視機能をインポートした後でしか表示されません。

- ① **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
- ① **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 19. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシモジュールサーバー関連機能のインポート	シャーシモジュールサーバー関連機能を有効にします。
シャーシモジュールサーバー関連機能のアップグレード	シャーシモジュールサーバー関連機能の最新バージョンにアップグレードします。
シャーシモジュールサーバー関連機能の削除	シャーシモジュールサーバー関連機能を削除します。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard をアップデートします。 ① メモ: ダッシュボードの更新 タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。

トラブルシューティング

本章では、インストール関連のエラーのトラブルシューティングについての情報を説明します。

トピック：

- Feature Management Dashboard が自動入力されない
- Feature Management Dashboard タスクが失敗する
- 機能管理アラート
- Feature Management Host Server の正常性サービスがダウンしている

Feature Management Dashboard が自動入力されない


分散型セットアップでは、Dell EMC Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバが、すべての機能管理アクティビティ（検出、アラート、タスクなど）をホストするために選択されます。Dell EMC Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバが、**Feature Management Dashboard** にデータを生成します。ただし、管理サーバ上でインストーラを実行せずに Feature Monitoring Management Pack を手動でインポートした場合は、Feature Management Pack ホストが選択されないため、**Feature Management Dashboard** にデータが生成されません。

Feature Management Dashboard にデータを表示させるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
 2. **オーサリング** で、**Management Pack** オブジェクトを展開します。
 3. **オブジェクトの検出** をクリックします。
 4. **検索対象**：フィールドで、**Dell Feature Management** ホスト検出を検索します。
 5. **Dell Feature Management Host Discovery (Dell Feature Management ホスト検出)** を右クリックして、**Overrides (オーバーライド) > Override the Object Discovery (オブジェクト検出のオーバーライド) > For all objects of class: Dell Feature Management Host Discovery (クラスのすべてのオブジェクト: Dell Feature Management ホスト検出)** の順に選択します。
 6. 機能管理アクティビティを実行するには、**FmpHostFqdn** を選択して、管理サーバの FQDN の上書き値を設定します。
-  **メモ**: OpsMgr 2007 R2 のクラスタ化された環境で機能管理ワークフローをスケジュールするには、FmpHostFqdn 値をクラスタの FQDN で上書きします。

Feature Management Dashboard タスクが失敗する

Feature Management Dashboard でのアップグレードタスクの実行は、データ喪失の原因になる場合があります。たとえば、変更されている監視機能に依存性または関連性が存在すると、アップグレードタスクが失敗し、適切なメッセージが表示されます。

 **注意**: タスクのパラメータを上書きすると、管理パックまたは動作データが失われる場合があります。

1. OpsMgr コンソール を立ち上げて、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell > Feature Management Dashboard** と移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内の管理パックとアップグレード可能な管理パックのバージョンのリストが表示されます。
3. 監視機能を選択します。
4. **タスク** で、**Dell 監視機能タスク** を展開します。
5. 監視のアップグレードタスクをクリックします。
たとえば、**シャーシ監視** 機能をアップグレードするには、**Dell 監視機能タスク** で **シャーシ監視機能のアップグレード** をクリックします。
6. **タスクの実行** — **監視機能のアップグレード** 画面で、**上書き** をクリックします。
タスクのパラメータの **オーバーライド** が表示されます。
7. **新しい値** 行のドロップダウンメニューで、**警告/エラーの自動解決** を **True** に変更します。
8. **上書き** をクリックします。

9. **実行** をクリックしてタスクを実行します。

機能管理アラート

表 20. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
Dell FMP : Dell Device Helperユーティリティが存在していないか、または Dell サーバーおよびラックの監視 (ライセンス対象) の管理パックとの互換性がありません。	重要	<p>必要な Dell Device Helper Utility バージョンが見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。</p> <p>必要な Dell Device Helper Utility バージョンよりも新しいバージョンが見つかりました。</p> <p>必要な Dell Device Helper Utility バージョンよりも古いバージョンが見つかりました。</p>	<p>Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 インストーラを管理サーバ上で実行してください。</p> <p>インストーラで Repair (修復) オプションを使用します。詳細については、「インストーラの修復オプションの使用」を参照してください。</p>

Feature Management Host Server の正常性サービスがダウンしている

分散型セットアップでは、Dell EMC Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバが、すべての機能管理アクティビティ (検出、アラート、タスクなど) をホストするために選択されます。選択した管理サーバの動作が停止した場合は、実行された機能管理タスクが失敗し、**Feature Management Dashboard** にデータが生成されません。選択した当該管理サーバが破損している場合、または正常性サービスが取得されない場合は、管理サーバを廃棄し、古くなったオブジェクトを削除します。詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照してください。

Feature Management Dashboard にデータを表示させるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** で、**Management Pack オブジェクト** を展開します。
3. **オブジェクトの検出** をクリックします。
4. **検索対象** : フィールドで、**Dell Feature Management ホスト検出** を検索します。
5. **Dell Feature Management Host Discovery (Dell Feature Management ホスト検出)** を右クリックして、**Overrides (オーバライド)** > **Override the Object Discovery (オブジェクト検出のオーバーライド)** > **For all objects of class: Dell Feature Management Host Discovery (クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出)** の順に選択します。
6. **FmpHostFqdn** を選択し、上書き値を Feature Management のアクティビティが実行される必要がある管理サーバの FQDN に設定します。

トピック：

- Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイステンプレートのインストール
- Run As アカウントの関連付けタスク — サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能


Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイステンプレートのインストール

WS-Man と SMASH デバイステンプレートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. SMASH ライブラリ MPB ファイル(WS-ManagementAndSMASHDeviceDiscoveryTemplate.msi)を www.microsoft.com/en-in/download/confirmation.aspx?id=29266 から一時保管場所にダウンロードします。
2. この .msi を実行して、SMASH ライブラリ MPB ファイルを user/default の下にコピーします。
3. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
4. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
5. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
6. **Add (追加) > Add from disk (ディスクから追加)** をクリックします。
7. Microsoft の SMASH ライブラリ MPB ファイルのダウンロード先を正確に入力するか、その場所に移動します。
8. MPB ファイルを選択して **開く** をクリックします。
Import Management Packs (管理パックのインポート) 画面が表示され、テンプレートが **Import List (インポートリスト)** に表示されます。
9. **インストール** をクリックします。

Run As アカウントの関連付けタスク — サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能

Run As アカウントの関連付けタスクでは、SMASH 検出で使用した Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバーオブジェクトに関連付けます。このタスクは、オブジェクトレベルの関連付けを実行するオプションとして使用できます。

 **警告:** Run As アカウントの関連付けタスクは、必要な場合にのみ実行してください。このタスクは、すべての Dell サーバーオブジェクトの設定に影響します。Dell サーバー Run As アカウント関連ユニット監視は、オブジェクトレベルの関連付けを自動的に実行します。

Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス

直接リンクを使用して Dell EMC サポート サイトに移動するか、検索エンジンを使用して、一連のシステム管理ツールに関連するサポート コンテンツにアクセスします。

- 直接リンク：
 - Dell EMC エンタープライズ システム管理および Dell EMC リモート エンタープライズ システム管理：www.dell.com/esmmanuals
 - Dell EMC 仮想化ソリューション：www.dell.com/SoftwareManuals
 - Dell EMC OpenManage：www.dell.com/openmanagemanuals
 - iDRAC：www.dell.com/idracmanuals
 - Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズ システム管理：www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - Dell EMC Serviceability Tools：<https://www.dell.com/serviceabilitytools>
- Dell EMC サポート サイト：
 1. <https://www.dell.com/support> にアクセスします。
 2. **すべての製品の参照** をクリックします。
 3. **すべての製品** ページで **ソフトウェア** をクリックして、次に必要なリンクをクリックします。
 4. 必要な製品をクリックして、必要なバージョンをクリックします。

検索エンジンを使用する場合は、検索ボックスにドキュメントの名前とバージョンを入力します。